

教職員の協働による細かな分析を基にした  
学力向上等の取組

美作市立美作北小学校

1 はじめに

本校は、県東北部に位置しています。児童数は現在323名、学級数17（通常学級12、特別支援学級4、通級指導教室1）です。児童は、明るく素直ですが、特別な支援を要する児童も多く、また家庭への支援を要する児童も多いのが実態です。

2 取組

(1) 重点目標

児童の実態を考慮して、次のような重点目標を決めました。

- ① 自己有用感を高める。
- ② 自治的能力をつける。

この二つの重点目標を、常に意識して、すべての教育活動のなかで達成していくことにしました。

(2) 特別支援教育・児童理解

困難さをかかえた児童に対する理解を基盤にした校内研修を核に、ユニバーサルデザインの



グループ活動を取り入れた授業

視点を取り入れた授業づくり・

ソーシャルスキルの指導・保護者との教育相談・保護者啓発・

専門機関との連携を行いました。

今、目の前にいる児童一人一人と、真剣に向き合おうとする教師集団でありたいと考えています。

(3) 学級づくり・学力分析

学級づくりについては、年度当初の校内研修を核に学級集団の原理・原則を共通理解し、学

級経営の年間計画を作成して、学期ごとに振り返りを行いながら、ベテランと若手の交流を大事にして取り組んでいます。

また、学力分析については、学力調査の結果をもとに、C層・D層を向上させるように意識して教育活動を取り組みました。

(4) 校内研修・学力向上

研究主題は、「主体的・対話的に学ぶ授業づくり」です。低・中・高・特別支援部会に分かれて全体公開授業を行うとともに、全員が部内公開授業に取り組みます。

学力向上のためには、授業をABCユニットに分けて学習、朝や放課後の補充学習、自主学



職員研修の様子

習、家庭学習の促進などを行っています。

(5) 体力づくり

児童の自己有用感を高めるために、体力づくりの取組は結果が目に見えて表れやすいので、効果的だと考えて取り組んでいます。

体育の授業の前5分間を使って、サーキットトレーニングをどの学年も行っています。また、業間体育で2学期は様々な種目のトレーニングをチャレンジ表に書き込みながら行い、3学期はマラソン運動を取り入れています。春秋の陸上の練習を大事にして、取り組むこともしています。

3 成果と課題

学校の実態に合わせて、課題解決に向けて職員と相談しながら、効果的な方法を探りながら実践を行いました。

結果として、自己有用感が高まり、自治的能力もついてきたと感じています。今後も、さらに効果的な方法を模索しながら実践を積み、効果を上げていきたいと考えています。

(前年度校長 福田 健司)